

# 暮らしのSDGs 学習会

脱炭素化の切り札として、多くの国が導入しているカーボンプライシング。主な手法には、炭素税と排出量取引制度があります。日本でもGX推進法で導入が決定。「化石燃料賦課金」は2028年から、「特定事業者負担金」は2033年からスタートします。他方、制度設計が国際水準のものになっているか、懸念を残します。また導入スピードは、1.5度目標の実現に不可欠な2030年半減のタイムラインに整合しているでしょうか。制度の課題を分析し、解決策を探ります。

というのが、セミナーの主題でしたので、203回の学習会ではその内容について説明します。

## <第203回 暮らしのSDGs学習会>

- 1, 日時=2024年10月11日(金) 13:30~15:30
- 2, 会場=流山市生涯学習センター(3F)会議室  
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
- 3, 内容=実効性のあるカーボンプライシングとは(連続セミナー第2回)  
[1.5℃へのアクション連続セミナー\(全4回\) CAN-Japan](#)
- 4, 説明=筒井 義憲(千葉県地球温暖化防止活動推進員、OBN会員)
- 5, 定員=18名(定員に達した場合は締切ります)。  
今回もZOOM発信はありません。
- 6, 申込=筒井 義憲(Tel:090-3130-5541)  
E-Mail [tsutsu\\_1213\\_yoshi@yahoo.co.jp](mailto:tsutsu_1213_yoshi@yahoo.co.jp)

主催	: 暮らしのSDGs学習会
実施	: 温暖化防止ながれやま(略称OBN)

## <次回予定>

日時=令和6年11月15日(金) 13:30~15:30 会場=流山市生涯学習センター  
内容=CAN-Japanの1.5℃へのアクション連続セミナー(全4回)の第4回

<市民・企業・自治体は1.5度目標をめざす>

(セミナーの録画・資料を使い内容の説明を行います)

説明=筒井 義憲